



新しいライフスタイル委員会

第14号

令和7年3月発行

かわらばん



「もったいない」を「ありがとう」に変える取組

フードドライブへのご協力おねがいします！

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、それらを地域の福祉施設等に寄付する活動のことで、県では「ひょうごフードドライブ」として県下全域に広める活動を続けています。ご家庭で食べきれない食品がありましたら、ぜひお近くの実施拠点までお持ち寄りください。

フードドライブの流れ



回収できる食品

- パッケージが未開封のもの
- 常温保存ができるもの
- 賞味期限まで1カ月以上あるもの



お近くのスーパーやコンビニでも！フードドライブの取組が拡大中

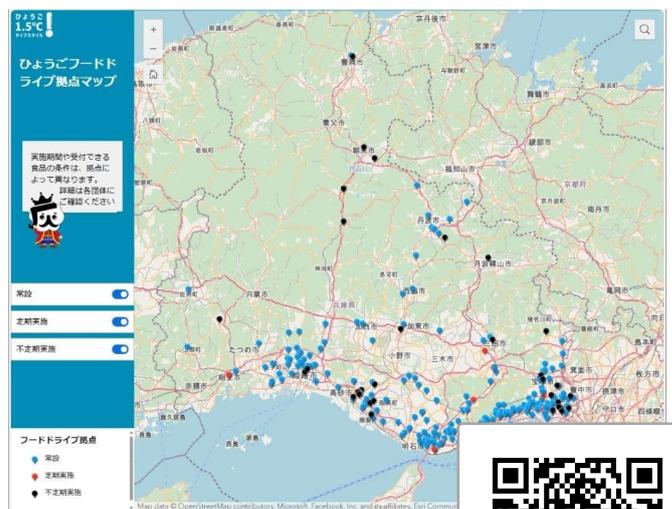
ひょうごフードドライブでは、県内33市町の388拠点（R7.3.3現在）でフードドライブを実施しており、連携スーパーのほか、市役所や社会福祉協議会等での実施も広がっています。

くわしい情報は、県ホームページの「[ひょうごフードドライブ拠点マップ](#)」をご確認ください。

おもな実施スーパー



※実施していない店舗もあります。実施店舗は、県公式サイトでご確認ください。



▲フードドライブ拠点マップ
市町名や店舗名などのキーワードで検索ができます。



県フードドライブ
公式サイト



環境保全・創造活動に取り組む県内事業者

第33回環境にやさしい事業者賞のご紹介

優秀賞

有限会社清美社（新温泉町）

受賞内容

地域一体となった廃食用油回収とバイオディーゼル燃料製造サイクル

- 15年以上継続して地域一体となった廃食用油の回収とバイオディーゼル燃料製造・利用体制を構築
- バイオディーゼル燃料は、自社ごみ収集車や町役場公用車に使用、年間約40tの温室効果ガス削減に貢献



具体的な取組・実績

- 地域全体の食用油の廃棄、収集、焼却等にかかる負荷低減に寄与
- 回収拠点約90箇所のほか、地元小中学校の廃品回収等、本来業務であるゴミ収集作業や浄化槽点検に合わせて行うことで、回収コストをかけない持続的な仕組みを構築
- 廃食用油売上は、地元教育委員会へ寄付するなど地域活動に貢献
- バイオディーゼル燃料の製造過程の残渣のリサイクルや水洗浄の抑制等の工夫により、環境負荷を低減

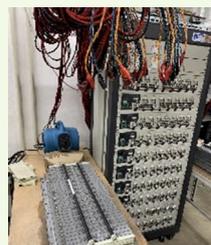
賞

株式会社ながおテクノ（尼崎市）

受賞内容

自動車リビルド部品（再生部品）事業による資源の有効活用

- 自動車解体業者や整備業者からコア部品と呼ばれる使用済自動車部品を購入し、リビルド部品（分解・点検を行い、再組立・検査を行った信頼性の高い再利用部品）として再生、販売



具体的な取組・実績

- 当初、一部の部品の取り扱いからスタートし、現在では触媒部品、マニュアルミッション、エンジン等、より幅広い製品を再生させ、資源の有効利用に寄与
- 修理の過程で出た資材で、再使用できないものは鉄、アルミ、銅、プラ等の資源別に分類し、ほぼすべての端材のリサイクルを実現

賞

日本たばこ産業株式会社兵庫支社（神戸市）

受賞内容

「Rethink PROJECT」プロジェクト・ピリカ自治体版

見える化ページ「クリーンアップひょうご」の開設

- 自社の社会課題と向き合う取組「Rethink PROJECT」の一環で、県内のごみ清掃活動の成果が見える化できる、ピリカ自治体版見える化ページ「クリーンアップひょうご」を開設
- 県主催ごみ清掃イベント等への積極的な参加・協力



具体的な取組・実績

- 「クリーンアップひょうごキャンペーン」と協同で、清掃活動の実績を可視化するためのサイト「自治体版ピリカ」の立ち上げ、サイトの維持管理費等の寄付など、県事業の推進に寄与
- 県内各地での清掃活動の企画運営、県主催の清掃活動への参加や掃除用具を提供等、地域の環境美化に貢献

